

匝瑳市総合計画策定にかかる
団体アンケート

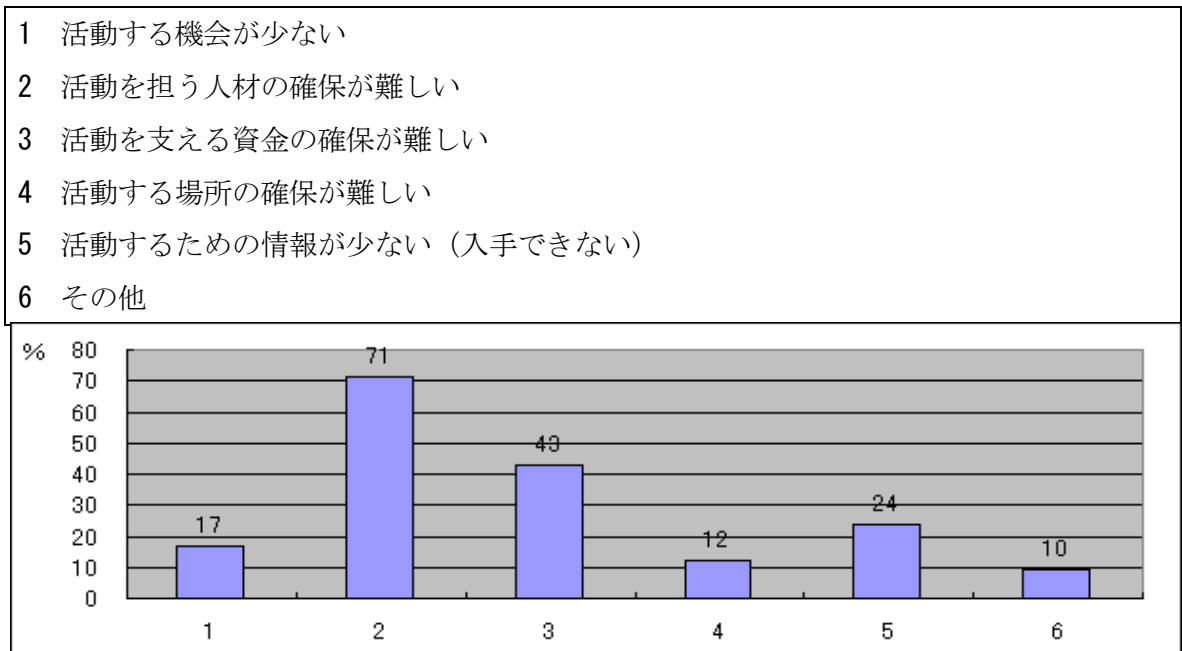
結果報告書

平成18年10月

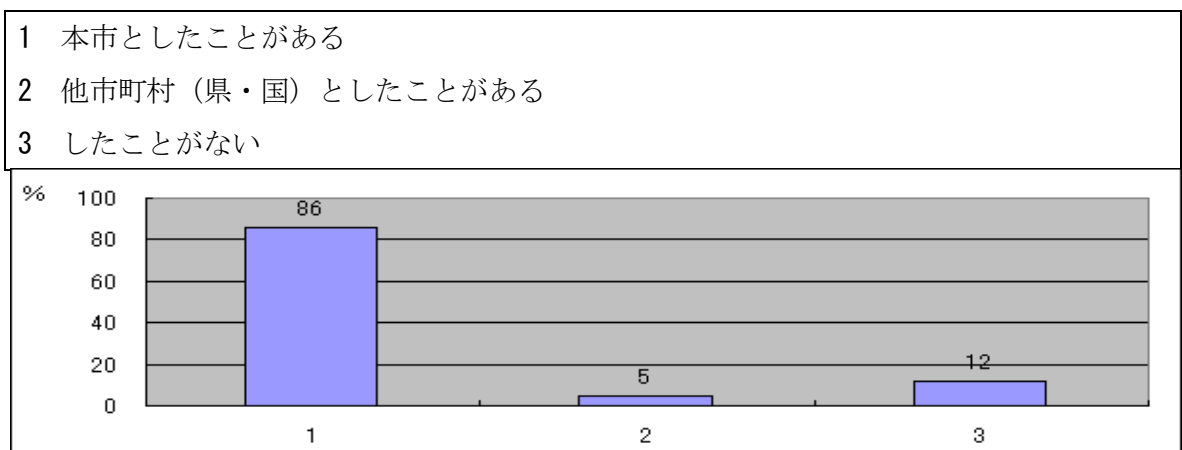
匝 瑳 市

■ 匠瑛市総合計画策定にかかる団体アンケート調査結果(選択設問編)

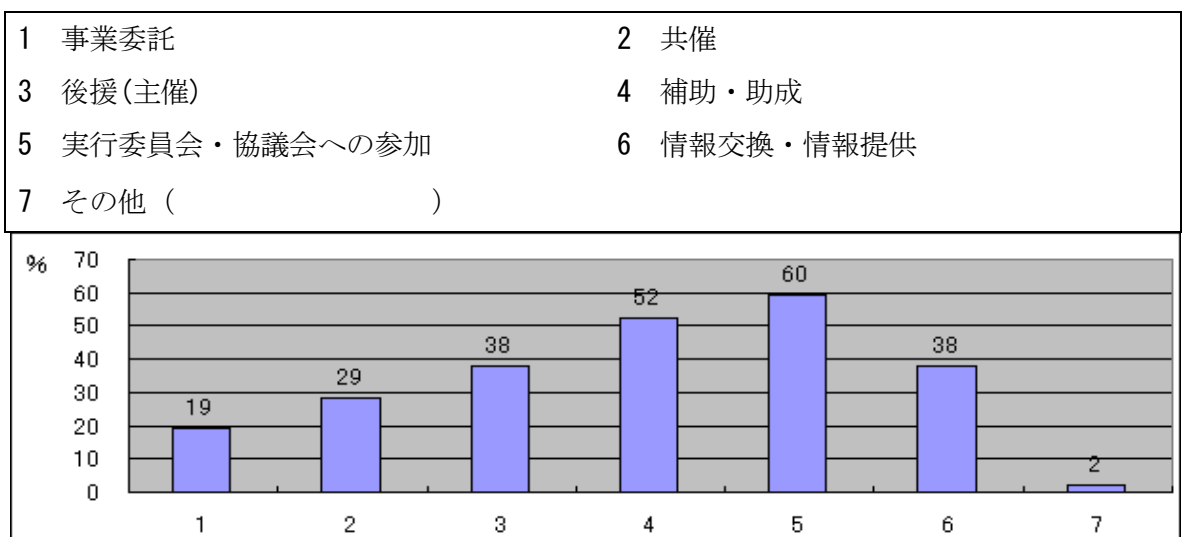
問1 貴団体の活動において、課題となっている事項はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



問2 貴団体では、これまで行政と協働して事業を実施したことはありますか。(1つに○)

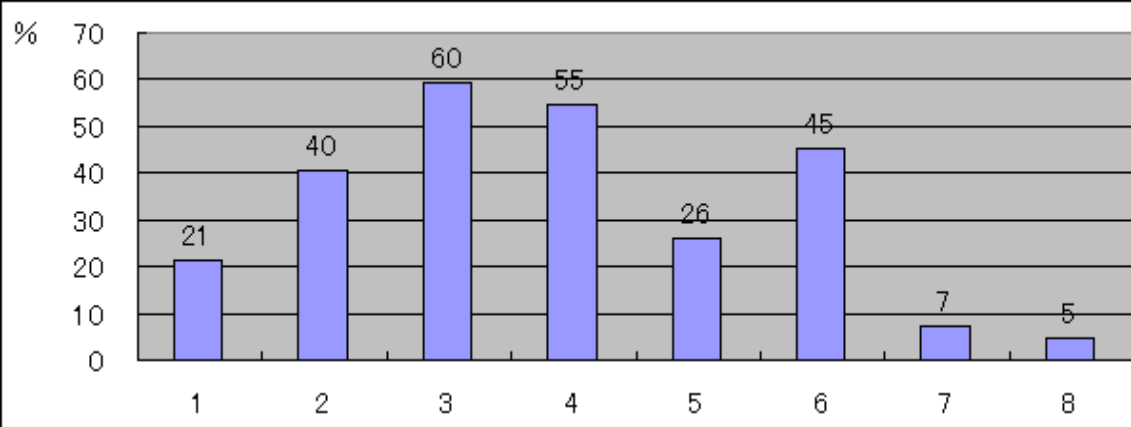


問3-1 それはどのような形態ですか。(あてはまるものすべてに○)



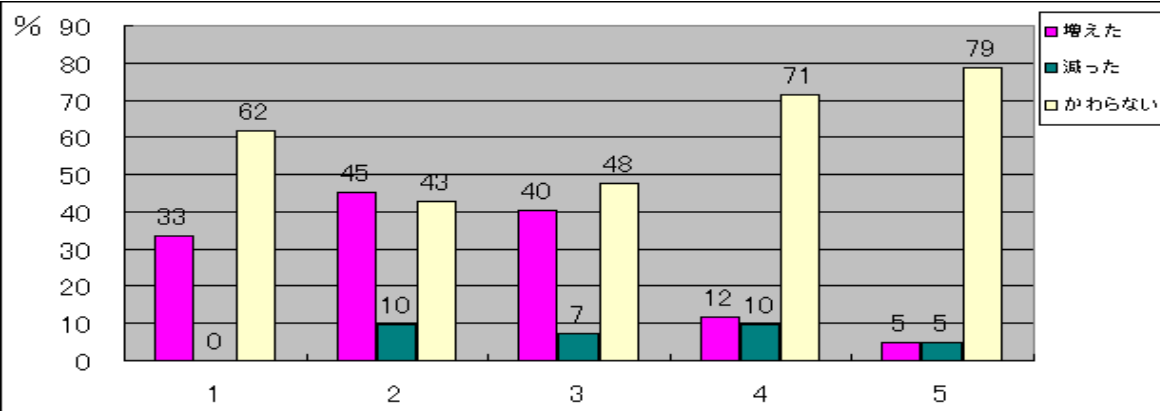
問4 市民と行政が協働して新しいまちづくりを進める取組みで、何が最も重要と考えますか。(3つまで)

- 1 地域活動の拠点を充実させる（公民館の機能充実など）
- 2 地域活動団体同士の交流促進や研修を行う
- 3 まちづくりに関する情報を積極的に公開する
- 4 市民・地域の意見を聞く機会を充実させる
- 5 地域の自主性に任せる事業を増やす(地域への事業委託, 自主事業の拡大など)
- 6 市民自身が主体的に行う活動を活性化する（自治会、ボランティアなど）
- 7 現状のままでよい
- 8 その他（具体的に



問6 合併前と合併後で、活動状況が変わりましたか。(1つに〇)

- (1)活動機会
- (2)対象者
- (3)活動地域
- (4)行政との連携
- (5)他団体との連携



■調査票送付団体数 . . . 61団体
 ■回答数 . . . 42団体
 ■回答率 . . . 68.9%

■ 匠瑛市総合計画策定にかかる団体アンケート調査結果(自由意見編)

問1 貴団体の活動において、課題となっている事項は何ですか。

- ・ 今後の地域での活動を支えてくれる若い世代の人たちや、定年等により第1戦を退いたシニア世代の人たちに、地区での活動に積極的に参加してほしい。(社協)
- ・ 若い人材の確保が難しい。(ボラ協)
- ・ 講習等に参加する人たちのボランティアとしての目的意識が異なるためか、その後の活動に参加してくれる人がほとんどいないのが実情である。(ボラ協)
- ・ 人件費関連の肥大化が活動資金を圧迫、また、会員の高齢化や合併等による減少で資金の減少が問題。(医師会)
- ・ 歯科医師会に入らない未入会者が増えてきた。(歯科医師会)
- ・ 役員に仕事が集中し、休日も会の活動で出張することがたびたびあります。研修会などの出席はまずまず良いのですが、組織の裏側で働くことは嫌われます。8月にイベント参加の講習会がありますが、会員の協力は不明です。薬局も社会情勢の変化により資金的なものも変化してきており、組織内でも退会する会員が出てこないか心配です。(薬剤師会)
- ・ 勤めている人が多く推進員を引き受けてくれる人が少ない。(保健推進員会)
- ・ マザーズから独立して、親の会としてはまだ年数が浅く方向性を探りながらの活動で障害を持つ子どもの親の情報交換の場となっている。
- ・ 会員の個々人が、女性の立場を補佐的役割という根底の概念を持ち、すべての事業に対して消極的である。そのためにリーダー的存在(社会を見る目、政治・経済、また、社会の変動をリンクする対応のできる)の人を求めるか、または学ぶチャンスがほしい。(商工会女性部)
- ・ 良いビジョンの行動化が難しい。(商工会女性部)
- ・ 合併前は行政、あるいは、県連等と関わり深く活動してきましたが、これからは新組合立ち上げ後、その心配がある。(野栄植木生産組合)
- ・ 施設のスペースの有効利用を模索している。(ふれあいパーク(有))
- ・ ふれあいパーク等、会員が多数関係しています。日々の暮らしの一部となって活動されています。研究会に関わる会議・研修会も、年間を通じて活発だと思います。ただし、以前から比べますと、全体の人数減少が課題だと思われます。(生活研究会)
- ・ 土地改良区財政の6割は自主財源(組合費)としているため、組合員の理解が得られるような運営に努めること。(干潟土地改良区)
- ・ 組合員からの賦課金が活動財源の大部分を占めており、活動範囲の拡大等には組合員負担が伴ってくるため、それを解決する必要がある。(北総東部土地改良区)
- ・ 毎月1回くらい、関係課と打ち合わせを行いたいので機会を作ってほしい。(両総土地改良区管理委員会南条支部)
- ・ 防犯指導員は各自治体の区から1名選出していただいておりますが、各区とも人材不足で高齢

者が多い。区長及び区長会にもお願い申し上げておりますが、認識がイマイチです。特に、夜間パトロール等に無理があります。匠瑛署の生活安全課長にお願いしており、努力していただいております。良い方向に行けばと案じております。(防犯協会)

- ・ 行事調整のため、校長会の機会は月1回程度である。それぞれの学校でそれぞれの課題もあるので、共通して取り組むことはあまり多くない。(校長会)
- ・ 声をかければ人は集まるので、特に問題はない。集落全体がその気である。(飯高檀林跡を守る会)
- ・ 単Pの役員としての仕事もあるため、匠瑛市Pの仕事の両立を図るためには、自分自身の仕事をある程度、犠牲にする必要がある。時間のつくれる人材を確保することが難しい。(市P連)
- ・ 自主運営で市内の婦人の研修・親睦を図りながら、微力でも住みよい街づくりを推進していきたい。ボランティア精神に徹して。(婦人会)
- ・ 婦人会員の多数は、他団体と兼任している人が多く、集会連絡が思うようにならず、予定して行事に出席してくれる人は決まっている。(会員という名ばかりの者もいるが、その人なりに婦人会を消さないでの願いがあるのだと考えて大事に思うことにしている)。(婦人会)
- ・ 国際交流協会の計画、運営を担う現在の会員はほとんどが自営または会社勤めの人たちであり、恒常的に協会の活動に携わることが難しい。(国際交流協会)
- ・ 過去9年間、年々会員の減少による歳入が大幅に減少したこと及び市の財政ひっ迫により、市の補助金も発足当時の5分の1に減少している。(国際交流協会)
- ・ 人権意識の市民への浸透。(人権擁護委員)

問2 問1の課題を解決するために貴団体に取り組んでいることは何ですか。

- ・ ボランティア要請事業・講座の開催、情報誌発行、ボランティアセンターの設立ほか。(社協)
- ・ 福祉教育推進事業・生徒へのボランティア活動援助、体験講座への講師派遣、情報提供ほか。(社協)
- ・ 地区社協事業・事業等の交付、サテライトデイサービス、地域防災講座の開催ほか。(社協)
- ・ 社会福祉協議会主催の講習会等への積極的な参加協力。(ボラ協)
- ・ 活動紹介のためのボランティア連協情報誌(タッチ)の発行。(ボラ協)
- ・ 連協自体の収入源が少ない。所属している各グループは、それぞれ会費収入等で賄っているが、現状はなかなか厳しい。(ボラ協)
- ・ 広報紙の配布。(民生委員協)
- ・ 同様団体との共同活動による資金の軽減化。(医師会)
- ・ 直接電話をして入会を勧めている。(歯科医師会)
- ・ 活動に対する会員の意識の変化。何かやってみようという気持ち。(薬剤師会)
- ・ これといった名案がなく自分たちで声かけをして人材を確保している。(保健推進員会)
- ・ 会の新聞発行。(どんぐりの会)

- ・ 新聞と会の案内の掲示。(どんぐりの会)
- ・ 生協から活動支援金を得ている。(どんぐりの会)
- ・ 親同士の口コミによる仲間集め。(どんぐりの会)
- ・ 農業まつり等のバザーなどをし、少しの収益金ですが資金に回している。(ドラえもんの会)
- ・ 自己財源(手数料収入)の確保。(商工会)
- ・ 自主的な女性団体となる意識の改革(活性化)のため、交流型学びを取り入れブロックの交流会、サークル活動または発表、新年会等を通して競争意識からチャレンジ精神、能力の開花、可能性への挑戦など、交流の中で生み出したいと希望し行動しています。(商工会女性部)
- ・ 組合員の増強。(商業協同組合)
- ・ 若手農業者の勧誘を行っている。(JA青年部)
- ・ 事業として「自分でできる庭木の手入れ塾」を開催し、受講生を募集して植木の手入れの仕方を指導している。(八日市場市植木組合)
- ・ メリットを増やしたい。(野栄植木生産組合)
- ・ 会員の生産物を年間通じて展示できるよう工夫してスペースの確保に取り組んでいる。一方では、ふれあいパークの目的をよく熟知している市役所からも理解と全面協力が必要。(ふれあいパーク(有))
- ・ 会員数を増やすことはなかなか難しいとは思いますが、まず、ご近所から適当な方を。そして、できれば若い方に声をかけられたらよいと思います。チームワークを保ちながら、輪を広げていくこと、これから皆に意識を持っていただきながら、進めていきたいと思っています。(生活研究会)
- ・ 会員募集の記事(入会説明会)を広報そうさに掲載していただいている。(シルバー人材)
- ・ 部会を中心に啓発活動を行っている。(シルバー人材)
- ・ 土地改良区は空気のようなもの。水・土・里を守り、農村地域の生産基盤を支え、当たり前のことを当たり前にやっていることを、農業者に限らず地域住民に土地改良区の果たしてきた役割を認知してもらうよう努力する。(干潟土地改良区)
- ・ 関係農家(組合員)からのボランティア的な活動をお願いしている。(北総東部土地改良区)
- ・ 役員が若く農業外の人ができるようになって運営上、問題が生じてきているので、今後検討する必要がある。(借当川沿岸土地改良区)
- ・ できれば各区長会等で大いに話題にしていただきたい。つくしんぼの会としては、自治会長等に清掃等の協力をお願い申し上げているがまとまらないようです。(つくしんぼの会)
- ・ 会長組織、植木組合の協力を得ている。(天神山桜のオーナー実行委)
- ・ 電話連絡や校長会の後での打ち合わせ等。(校長会)
- ・ 積極的に行事を実行している地区へ見学を勧め、自分の地区でも実施してみようという意欲と先進地区の方々の更なる活動意識を高めている。(地区役員の熱意に掛かっている)。(婦人会)
- ・ 自分にはこれならできるという小さなことの実践をすすめ、役員会等で知らせ認め合い更なる実践をすすめている。(婦人会)

- ・活動を担う人材の確保策として、法人・団体会員に所属する個人に、個人または家族会員になってもらう方針を役員会で決議し、協力を得ている。(国際交流協会)
- ・歳入の増加を目的として、①会員増加による会費収入を増やす。②総会、イベント時の会費を見直して諸収入の増加を図る。(国際交流協会)
- ・いろいろな場面をとらえての市民への啓発活動。(人権擁護委員)

問3 貴団体では、これまで行政と協働して事業を実施したことはありますか。

- ・市場まつり、よかっぺまつりを市と協働して実施した。(商工会女性部)
- ・農業まつりで実行委員会へ参加している。(JA青年部)
- ・行事の手伝い。(婦人会)

問4 市民と行政が協働して新しいまちづくりを進める取組みで、何が最も重要と考えますか。

- ・地域に密着した多様なニーズを収集・提供するために、地域住民の意見を聞く機会を充実させることが重要。また、町内会や自治会など地縁型の団体だけではなく、ボランティア団体等のさまざまな団体も行政に携わっていけるよう、若者から高齢者まで参加できるような仕組みの構築。(社協)
- ・現場に足を運び、実態・実情をきちんと把握してほしい。(ボラ協)
- ・何をすることも資金の裏づけが必要。(医師会)
- ・計画倒れにならない具体的展開が可能となるようにバックアップが必要。(医師会)
- ・結婚支援と子育て支援。(歯科医師会)
- ・市政が健全であるには、人口バランスが適正でなければならない。つまり、少子化対策が急務であろう。(歯科医師会)
- ・当薬剤師会は、匝瑳市と横芝光町の旧光町地区及び多古町の薬局を開業している薬剤師のみで構成されている団体です。全国的な日本薬剤師会、千葉県薬剤師会と連携して、情報のやり取りや研修会などの企画・実行を主な仕事としています。2年ほど前に、NHKの番組製作に協力したことはありますが、市とは役所の行事に出席する程度で、それ以上のつながりはありません。何か薬に関して、薬剤師会ができる事があるのか不明です。各会員の意見を聞いてみようかと思います。(薬剤師会)
- ・各種団体がいろいろな意見を出し合い、自分たちがどう活動するのか、市民のためになるか、また、会の発展と充実のためになるか、意見を出し合う場所を提供してほしい。(保健推進委員会)
- ・市内の公園の遊具を整備してほしい。破損しているもの、さびているものがある。(どんぐりの会)
- ・児童館の設立。(どんぐりの会)
- ・子どもが安心して遊べる場所をもっと増やしてほしい。(どんぐりの会)
- ・女性団体を多様な当事者と対等・水平な関係を築いてビジョンを共有できないでしょうか。女

性の問題は、男性の問題であるような気がします。(商工会女性部)

- ・ 私は、防犯協会とボランティア協議会「つくしんぼの会」を立ち上げ、駅周辺の清掃活動を行っております。防犯も清掃も、全住民が他人事ではなく、明日は我事ですので努力して協力することで心の連帯が生まれます。そのように思っています。(防犯協会)
- ・ 地域の中心となって活躍する人材を育成する。(校長会)
- ・ 匝瑳市民が夢と自身と潤いを持って生き生きと生活できるまちづくりを進めてほしい。そのためには、市民の本当の要望(声)を聞き、何をどのように進めていけばよいのか検討・立案したい。一部の人の声や団体だけの意見でなく、それ以外の人声、気持ちを取り入れたまちづくりも大切。行政だけでは限度もあるので、自治会や自主組織、ボランティア等を支援して育て、協力し合って進めていくようにしてはどうか。社会の役に立ちたいという人もいると思うので、役割を担ってくれるような人を求め依頼し、組織づくりをしていく。役割(ある意味では肩書き)ができる人も動く!(それなりに)(校長会)
- ・ 公民館の活動、機能充実には、利用させてもらう市民の側に立って応答してほしい(最近はいぶ良くなってきた)。(婦人会)

問5 まちづくりにおいて、市や他団体と協働して行っていきたい(行うべき)取り組みがありましたらご提案ください。

- ・ 認知症高齢者SOSネットワークシステムを市や他の団体と協力して行っていきたい。このシステムでは、徘徊中の認知症高齢者の早期発見、早期保護を目指し、高齢者やその家族が住みなれた地域で安心して暮らせるよう見守りや支援を行っていく。(社協)
- ・ ボランティア活動のPRと活性化のために福祉まつりを復活させたい。(ボラ協)
- ・ 市主催の行事への参加協力の機会を増やしていきたい。(ボラ協)
- ・ 福祉チャリティ映画祭や演劇、その他。(民生委員協)
- ・ 次世代の方々に対する一般の方々の接し方、親離れ、子離れなど、みんなで考える会を持ちたい。(医師会)
- ・ 下水道施設の確立。生活排水と農業用水が共同ではまずかろう。(歯科医師会)
- ・ 子育て支援を充実させてほしい。児童館の設立。(どんぐりの会)
- ・ まちづくりにおいて、市や他団体のすべての代表者で大型プロジェクトを編成し、長期ビジョンが必要だと思います。さらに、明確に市民に伝達し、市民がその実現に夢と希望を持つようになることを願いたい。(商工会女性部)
- ・ 地場産業の振興を進め随意契約も必要である。(野栄植木生産組合)
- ・ 光回線の早期開通。(みどり平連協)
- ・ 環境美化、景観形成等のため、アジサイ、桜など植栽について検討されたい。(大根土地改良区)
- ・ 市民と行政との互いの役割分担を決めて、アダプト制度(養子縁組)の積極的導入を図るなど

提案したい。(干潟土地改良区)

- ・ 「21世紀土地改良区創造運動」、「農地、水、農村環境保全向上活動支援事業」への参画、協働。(北総東部土地改良区)
- ・ 住宅地帯の生活排水と農業用水が共同使用している水路について、今後のあり方を検討する必要があるのでは……。 (両総土地改良区管理委員会南条支部)
- ・ 核家族社会はマッカーサーの政策でした。日本は、大家族社会で人道も構成も技術も親子関係も伝統もよかったですと思います。私は、21世紀の日本は本来の復権しか、世界で生き延びられないと思っています。まず、親が子をいつくしみ、子が親を大事にする社会。(防犯協会)
- ・ これからは高齢者社会になるため、高齢者に対する交通安全教室を多く実施し、交通事故防止を推進していくようお願いしたい。(交通安全協会)
- ・ 安全・安心のまちづくり(校長会)
- ・ 夢と希望、目標、自信を持って生活できる(学べる)まちづくり(学校)。(校長会)
- ・ 協働とは別な考え方ですが、匝瑳市PTA連絡協議会で実施しているイベントを別の行政機関が主になってできるものもあると感じる。この組織自体の運営を行政が行っていくことも一考と感じる。(市P連)
- ・ 婦人会としては、保健推進員さん、防犯協会さん、地区民生委員さん、区長会さんとの協働で、防犯活動、福祉活動等に加えていただき協力させていただければ、地域との結びつきが一層深まり、住みよいまちづくり(地域)に活動意欲が高まると考えています。(婦人会)
- ・ 国際交流協会は、匝瑳市及び周辺地域住民と外国人との相互理解と国際親善を更に推し進め、小さな平和社会を形成する取り組みを継続する。その中で、匝瑳市に在住する外国人が一市民として匝瑳市で居住する上でのハンディキャップや問題点にスポットライトを当てて、市や他団体の協力を得て匝瑳市在住の外国人との懇談会を開催し、外国人にも住んでよかったと思われる匝瑳市を目指したい。(国際交流協会)
- ・ 現在の内容をよりよく一層充実させるよう推進する。(人権擁護委員)

問6 合併前と合併後で、活動状況が変わりましたか。

- ・ 合併直後よりは少しは良いが、まだまだ野栄地区における地域性が見えてこない。(社協)
- ・ 活動の機会を増やしていきながら、地区社協等の活動の活性化へ結びつけていきたい。(社協)
- ・ 活動地域が広がり対象者の数が増えているはずであるが、活動をするにあたり、実際の状況が見えてこない。(ボラ協)
- ・ 旧野栄町方式と旧八日市場市との間のすりあわせがまだ不十分のような気がする。行政だけで先に走ってしまっている感じがある。(医師会)
- ・ 合併後、活動が単純化され、仕事がやりやすくなりました。つまり、二つに分けてやっていたことが一つで済むようになりました。(歯科医師会)
- ・ いろいろな情報が入ってきて自分たちになかったことなども分かるようになった。(保健推進員)

会)

- ・ 障害者に対して優しい街（子供やお年寄りにも）（ドラえものの会）
- ・ 合併を機に、各団体の規約を見直す必要があると思います（時代背景が変わってきているので）（商工会女性部）
- ・ 行政との連携を深め、相談者として近づいてほしい。（商工会女性部）
- ・ 八日市場支部の中に旧野栄町も含まれているので、活動範囲は同じ。（J A青年部）
- ・ 合併後、さほど期間が経ていないせいもあるのでなんともいえないが、合併しても地域の実情に応じた財政支援を切にお願いしたい。（干潟土地改良区）
- ・ 合併は市住民の共感を得ております。既に、合併は成立して数ヶ月（半年）。匝瑳市として、住民中心の行政が進められなければ、リコールしたらどうか？ 今の市役所は、市民が行きずらい所になっております。本末転倒ではないか。（防犯協会）
- ・ 合併前は1市2町（野栄町、光町）での活動であった。合併後は1市での活動となった。（交通安全協会）
- ・ 合併前は1市2町（野栄町、光町）での活動であった。合併後は1市での活動となった。（交通安全協会婦人部）
- ・ 学校が3校増え、また、今までの取り組みに差異もあったので、調整等に多少時間が掛かる。（校長会）
- ・ 合併したばかりで何も変わっていません。数年すれば、変化はあると思うが。（飯高檀林跡を守る会）
- ・ 現在のところ、匝瑳市へと市名が変わっただけなのに、なぜか方向が見えず、どうしようかと不安でいっぱい。（婦人会）
- ・ 他団体との連携については、例をよかっぺまつりの実行委員会から申しますと、それぞれが我がことのみ意見で、それをどうつなげていったらよいか分からない（実委2回修了）。昨年、よかっぺまつり最終として行い、本年、匝瑳市のよかっぺまつりなら、市担当課で一案ぐらいもち、ある線上で実行委員の意見がつながり、納得する実施案になればよいと思う。市当局としての案も出してほしい。（婦人会）

問7 合併後の活動において、期待していることや課題となっていることは何ですか。

- ・ 野栄地区の地区社協における活動の枠組みづくり。（社協）
- ・ 合併したことにより、ニーズに合った人材の確保が可能になるよう期待する。（ボラ協）
- ・ あらゆるニーズに応えるためにも体制の確立が望まれる。（ボラ協）
- ・ 合併後の一体化した方向性が早く見えてくること。（医師会）
- ・ 計画前から互いの方向性の確認等、情報など共有化できれば良い。（医師会）
- ・ 徹底的な合理化です。省いていくという意味ではなく、よく話し合っ、どうしても必要なものだけを残していくという作業が大切なことだと思っています。（歯科医師会）

- ・ 医療費補助の年齢制限を義務教育終了ぐらいまでに(拡大)してほしい。(どんぐりの会)
- ・ 児童館の設立。(どんぐりの会)
- ・ 保育園の保育料を一定額にする。一時預かりできる所を増やしてほしい。(どんぐりの会)
- ・ 野栄商工会との合併に取り組む。(商工会)
- ・ 人が変われば組織も変わるといわれるように、人事が課題。人事によって事業内容、スピード、質の良し悪しもあるように思えます。(商工会女性部)
- ・ 活動エリアの拡大。(商業協同組合)
- ・ 野栄地区への商品券のPR。(商業協同組合)
- ・ やはり農業後継者が少ないので、人材の確保が望まれる。(JA青年部)
- ・ まだ、合併といってもひとつになっていないので、機会あるたびに、または続けて、解け合うことだと思います。(生活研究会)
- ・ 匝瑳市の発展を望む。(大根土地改良区)
- ・ 合併後においても、旧八日市場市で実施の各般土地改良事業を継続し、引き続いて基盤整備づくりを重視した緊密な関係を保持し、今までと同様に物心両面にわたりご支援・ご協力を切にお願いしたい。(干潟土地改良区)
- ・ 「すぐやる課」を推し進めてください。合併後、各課は良くがんばっていることは認めます。市民はわがままなものです。であれば、市役所は職員挙げてそれに応えるのが職分です。私たちががんばります。明るく安心のできる街にしましょう。(防犯協会)
- ・ 合併前は光町地域が含んでの活動であった。例えば、免許取得(更新申請)、車庫証明の発行に扱い署の変更が生じ不便を感じている。特に合併前の会員であった光町地区の特例を認められるよう希望する。(交通安全協会)
- ・ 合併前は光町地域が含んでの活動であった。例えば、免許取得(更新申請)、自動車購入時における車庫証明等の発行に扱い署の変更が生じ不便を感じている。特に合併前の会員であった光町地区の特例を認められるよう希望する。(交通安全協会婦人部)
- ・ ボランティア活動の人材が少ないので、声掛けをしてボランティアの参加者を期待する。(天神山桜のオーナー実行委)
- ・ 規範意識、モラルのあるまちづくり。(校長会)
- ・ 県や他県へのPR。(校長会)
- ・ 封筒等に匝瑳市(そうさし)は必要ない? 他市の人も読める?(校長会)
- ・ 事業の見直しが一番である。(市P連)
- ・ 野栄の婦人会とどう交流し、理解・協力が得られるか。(婦人会)
- ・ マンネリ傾向にあった国際交流協会活動の活性化のために、市当局から積極的な協力が得られている。より多くの地域住民と外国人が参加して小さな平和社会形成のため尽力している当協会に、一層のご理解と御協力をお願いしたい。(国際交流協会)
- ・ 合併によって特段のことは生じていない。合併に伴っての課題はない。(人権擁護委員)

問8 本市が将来、どのようなまちに発展していくことが望ましいと考えますか。

- ・ 一人ひとりが安心して暮らすことができる住みよい福祉のまち（地域で支えあえるコミュニティ）。（社協）
- ・ すべての人が安心してすごせる安全なまち（ボラ協）
- ・ 地域住民の連帯感を高め「自分たちのまちづくり」の意識を持った活動が盛んになっていくこと。（ボラ協）
- ・ 駅の南に健康・福祉ゾーンの計画（土地が心配ならば個人提供いたします）。（民生委員協）
- ・ 大型化しないとやっていけないまちは、将来的には停滞してしまうと思う。小さな企業でも、農業でも、たちゆく街にしたい。地道な意識改革が必要。人口的にもっと大きな街が必要（医師会）
- ・ 都市部への人材補給のまち。田舎の自由な気風と風土を活かし、1夫婦3人程度の子どもを育てることにより、地の利を活かし、首都圏や成田空港に人材を提供していける街づくり。（歯科医師会）
- ・ 子どもが安心して遊べる施設づくり。（どんぐりの会）
- ・ 子育て支援策の充実。（どんぐりの会）
- ・ 街の活力の基本は、商業の活性化を図ることが不可欠。商業が活性化することにより、街の財政力も高まりさまざまな活動を興すことができる。（商工会）
- ・ 緑豊かな環境に（人も含む）、豊かな経済力。（商工会女性部）
- ・ 各産業が元気で地域社会のあるまちが望ましいと思う。（JA青年部）
- ・ 八日市場地区と野栄地区が解け合って、特長を活かし、活気ある町に発展していくこと。（生活研究会）
- ・ 都心、千葉方面に自宅から通学・通勤できるような環境の整備されたまちづくり。（みどり平連協）
- ・ 住みよい市となることを望む。（大利根土地改良区）
- ・ やはり農業を中心とし、商工業と一体となった街づくりを基本に、地域の実情に応じた社会基盤づくりを総合的に推進すべきと思われる。（干潟土地改良区）
- ・ 「海・みどり・人がはぐくむ活力あるまちづくり」との市の目標に迎え、「真心から相手を思いやる心」をはぐくんでいくしか方法はない。今の世相は個々人の「エゴ」が悪を引導しております。人間の生きる根本を上も下もない、考え直すときと思います。（防犯協会）
- ・ 施設等、一部の市民だけでなくたくさんの方が利用できるようになってもらいたい。（天神山桜のオーナー実行委）
- ・ 市民が夢と目標を持って生き生きと自身に満ち、潤いを持って生活できる市に……。一人ひとりに夢、やりたいことがある、やりたいことができる、生きがいのある人生を送れる）。（校長会）
- ・ 匝瑳市としての特長を一つ持ち、それを市民総力でつくりあげてほしい。（婦人会）

- ・ 豊かな自然環境や伝統文化などを生かした中で発展してほしい。（公民館運営審議会）
- ・ 本市の特性（自然環境等）を生かした中で発展してほしい。（図書館協議会）
- ・ 旧八日市場市の商店街ににぎわいを取り戻して、生まれ変わった商店街で、市民の明るい笑顔が見たい。旧野栄町の商店街の実態は分からない。（国際交流協会）
- ・ 「豊かな緑の中での健康な生活、活力のある街」 ①商店街の活性化 ②増加する高齢者の積極的な健康づくりとその活用 ③地域物産のブランド化 ④雇用の増加 （人権擁護委員）

問9 問8のようなまちにするために、市および貴団体においてどのような取組みを推進すべきだと思いますか。

- ・ 地区内の福祉課題やニーズに対する市社協は、必要な財政支援、情報提供、地区社協相互間及び市社協との連絡調整などによる支援で、地区社協の諸活動を支えていく。（社協）
- ・ 地域の住民に任せるだけでなく、行政もそれぞれの地域に深く、広く関わってほしい。（ボラ協）
- ・ 地域(圏域)の他同種団体との合併を視野に入れた協同作業の展開に取り込む。（医師会）
- ・ 乳幼児や学童期における歯科分野の健康強化。よい歯がよい人をつくるというメッセージを市民に送り続けること。（歯科医師会）
- ・ なかよし教室や子育て広場の指導者（保健推進員）の方に来てもらえたら嬉しいです。（手遊び歌、紙芝居、工作）（どんぐりの会）
- ・ 匠瑳市としての商業ビジョンの策定を商工会として取り組んでいきたい。（商工会）
- ・ 商工業の発展のため、団体としての明確なる目的の共有、人としての本質の部分の学び。（商工会女性部）
- ・ 活動の輪を広げていきたいと思います。（J A青年部）
- ・ 若い世代の参加が増えるとよいと思う。（八日市場市植木組合）
- ・ 市役所職員の業務状況を平等な目で見、課・担当の人数を考えてほしい。（ふれあいパーク（有））
- ・ もっと職員が積極的に動き活性化に励んでください。（ふれあいパーク（有））
- ・ 市民が市役所に行ったとき、職員があいさつもなく通り過ぎていくのが多く見受けられる。十分指導してほしい。（ふれあいパーク（有））
- ・ 期間をかけて交流の場を多く設けていただきたい。（生活研究会）
- ・ 市役所は、ロビーを活用して、来客に一目で分かるような活気あるイベントの紹介や、今月の目標のようなものを示していただきたい。（生活研究会）
- ・ J Rの複線化、高速道路の整備。（みどり平連協）
- ・ ベッドタウンとして利用できる分譲地の開発。自宅で農園ができるように広い敷地にして、他の分譲地と差別化を図る。（みどり平連協）
- ・ 連携。（大利根土地改良区）
- ・ 例えば、学識経験者や各種団体、NPO法人、地域住民などを交えた将来に向けた街づくりの

(仮称)“まちづくり懇談会”等を発足し議論を重ねてはどうか。(干潟土地改良区)

- 市職員は一時も早く「旧八日市場市、旧野栄町」を捨てなさい。でないと、市民からそっぽを向けられますよ！ 特に課長方は我々ボランティアの衆を大事にしてください。そして市民から慕われる市役所にしてください。サラリーマンではなく、市民の平ゴマになってください。夕張市の二の舞になるな！市民は何でも応えてくれます。(防犯協会)
- 学校としては地域の核として、地域の人たちとの交流活動を進め、住人やお年寄りにもやりがい、生きがいを持って協力してもらいたいと思う。(校長会)
- 一人ひとりの人に、出番、やること、役割を持ってもらうことが大切だと思う。すぐにはうまくいかないが、そういう人たちを増やし、育てていくことが大切だと思う。(校長会)
- 広報紙で匝瑳市は何を特徴としたら良いのか市民の声を聞く。(婦人会)
- 各種団体にも、まちづくりの方向の意見を出してもらおう。それを検討する会を持ったらどうか。(婦人会)
- 商店街の振興には、過去長い間、いろいろな取り組みが行われてきたはずだが、現状では「シャッター通り」といわれる人気のない商店街となっている。全国で9割の商店街が同じような状況に陥っていると聞くと聞くと、1割の商店街はにぎわっている。商店街ににぎわいを取り戻すために、1割の商店街の創意工夫を商店と市民が協働で学び、商店・市民・諸団体で構成する「商店街振興協議会」を結成するなどして魅力ある匝瑳市のまちづくり寄与してもらいたい。(国際交流協会)